

第 1 回利根川河口部水災害対策協議会 概要

日 時：令和 2 年 2 月 2 0 日(木) 1 0：3 0－1 1：4 0

場 所：銚子市役所議会棟全員協議会室

出席者：

神栖市 石田市長、銚子市 越川市長、茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課 大畠副参事(代理)、茨城県土木部河川課 飯村課長(代理)、千葉県防災危機管理部危機管理課 田中気象専門員(代理)、千葉県県土整備部河川環境課防災対策室 速見副主幹(代理)、水戸地方気象台 大橋次長(代理)、銚子地方気象台 菊田台長、国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所 大谷事務所長

主な質疑：

- ・河部域は漁港との調整がネックになっているのか？
→漁港としての利用と河川改修の調整は難しい面がある。波崎漁港部は神栖市長のリーダーシップのもと調整を進めている。引き続き、築堤、用地買収等を進め、改修を進展させる。

各機関の取組等（主な事項）：

【神栖市】

- ・市内には無堤部が 3 km 以上あり、計画策定、築堤等の調整を進めている。
- ・避難情報等発令にかかる情報が不足しているため、河川管理者ほか的確な情報の提供を行うべき。市・県・国で迅速な対応が必要。
- ・内水排除のためのポンプ排水の運用もうまく実施したい。よい運用事例があれば教えてほしい。

【銚子市】

- ・避難勧告、避難指示の発令のタイミングが難しいので、随時、正確な水位情報の提供を求める。
- ・無堤部の築堤に関しては中央要望のとおり、早急に着手してほしい。堤防整備後は内水排除の問題が発生するので、排水ポンプの配備を検討してほしい。
- ・津波や洪水の時には、波崎から銚子に避難者があり、銚子市・神栖市の連携が必要。
- ・銚子市内はエリアメールが出ず、携帯会社との連携が悪い。千葉県の協力を求める。

【茨城県】

- ・避難情報を発表しても住民の方の避難が少ないという課題があり、マイ・タイムラインの作成ほかを行っているところ。引き続き関係機関と連携して県内広く取り組む。

【千葉県】

- ・情報伝達のスピードが重要であり、確実かつ迅速な情報発信に心がける。

【水戸地方気象台】

- ・防災気象情報を的確に発信していく。
- ・避難勧告等発令時にはホットラインを積極的に活用してほしい。

【銚子地方気象台】

- ・洪水警報発令など、引き続き防災気象情報を早めに関係機関や市民に伝えていく。
- ・ホットラインを活用を積極的に活用してほしい。

【国土交通省利根川下流河川事務所】

- ・洪水水位の予測情報を銚子市・神栖市にうまく伝えられなかったため、その手法を改善する。
- ・防災教育、マイ・タイムライン、連携協定締結市町への支援等を進め、ハード整備以外にも市町と連携して取り組んでいく。

今後の進め方：

- ・令和2年3月末までに、課題、取り組み案を調査し、内容の調整を行う。
- ・年度明けに第1回幹事会で議論、出水期前の6月に今後の取組方針をまとめる。
- ・秋に今年の出水対応について反省をとりまとめる。